

品種解説：「スノーパール」

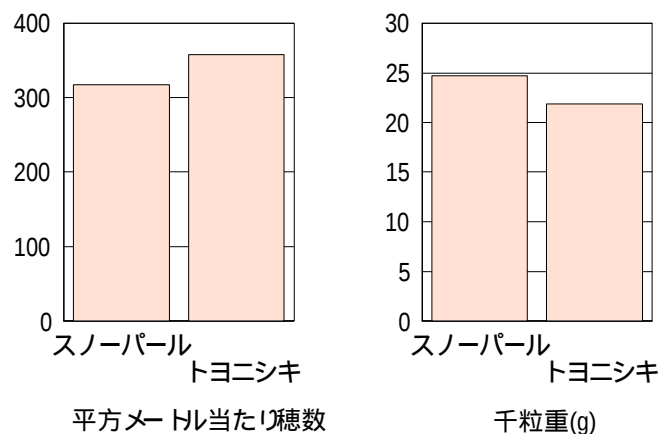
概 要：本品種の障害型耐冷性は「トヨニシキ」並みの“やや弱”である。名前の意味は、“雪（スノー）のように白い玄米、真珠（パール）のように輝く飯米であること”を表現する。

1．来歴の概要

「農林 8 号」由来の低アミロース系統「74wx2N-1」（農業生物資源研究所放射線育種場育成）を母とし、「レイメイ」を父として、1984 年に東北農業試験場で交配された。1992 年に「奥羽 344 号」の系統名が付けられ、1998 年に水稻農林 356 号として登録された。

2．形態的特性

- ・ 稈 長：「トヨニシキ」よりやや長い。
- ・ 穂 長：「トヨニシキ」と同程度である。
- ・ 穂 数：「トヨニシキ」よりやや少ない（下図参照）。
- ・ 千粒重：「トヨニシキ」より大きく“やや大”である（下図参照）。



生態的特性

- ・ 出穂期：「トヨニシキ」よりやや早い。
- ・ 成熟期：「トヨニシキ」よりやや早く、育成地では“中生種”である。
- ・ 収量性：「トヨニシキ」と同程度に高い。
- ・ 耐倒伏性：“やや弱”
- ・ 葉いもち抵抗性：「ササニシキ」より強く、“中”である。
- ・ 穂いもち抵抗性：「ササニシキ」より強く、“やや弱”である。
- ・ 障害型耐冷性：「トヨニシキ」並みの“やや弱”である。
- ・ 穂発芽性：「トヨニシキ」並みの“やや易”である。

特 性	スノーパール	トヨニシキ
耐冷性	やや弱	やや強
耐倒伏性	やや弱	やや強
葉いもち抵抗性	中	強
穂いもち抵抗性	やや弱	強
穂発芽性	やや易	やや易

3．品質・食味特性

- ・玄米の外観品質は粒揃いが良い。
- ・低アミロース米で、一般のうるち品種よりアミロース含量率が極めて低く、玄米は白濁し、玄米の白度は高い。
- ・低アミロースのため通常の水量で炊飯すると、軟らかくなりすぎる問題や餅臭のある場合もあるが、炊飯時に水の量を 10%程度少なくすると、飯米が適度に固くなり、通常の食用米と同程度の食感が得られる。
- ・特に、冷えた状態での食味は「ひとめぼれ」よりも良い。
- ・加工用としてチルド米飯や冷凍米飯に適する。
- ・粘りの弱い品種と混米すると、粘りを適度に調整し、「ひとめぼれ」並みにすることも可能である。

4．適地等

- ・熟期が中生であるので、東北中南部平坦地に適する。
- ・障害型冷害に弱い特性から、秋田県以南で日本海側地域が適地とみられる。

5．栽培上の注意

- ・いもち病抵抗性、障害型耐冷性とも不十分なので常発地での栽培は避けるほか、防除や低温時の水管理に留意する。
- ・稈長が長く耐倒伏性がやや弱いので、多肥栽培は避け、追肥時期にも注意する。
- ・登熟温度が高温の時はアミロース含量が低くなり、低温のときは高くなることに留意し、栽培適地を判定する。

< 参考資料 >

東他(1999 年)：低アミロース米良食味品種「スノーパール」の育成。東北農業試験場研究報告 第 95 号。